年間授業計画

高等学校 令和8年度（３学年用） 教科　芸術　科目　書道Ⅱ

教　科：　芸術　　科　目：　書道Ⅱ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　選択　　組

教科担当者：（　笠原　）　（　組：　　）　（　組：　　）　（　組：　　）　（　組：　　）　（　組：　　）

使用教科書：（ 教育出版　書道Ⅱ　　）

教科　芸術　　の目標：

【知識及び技能】　芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現すための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目　書道Ⅱ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	・漢字の書 代表的な古典を鑑賞し、それぞれの書法を理解するとともにその表現力を習得することができるようにする。身のまわりに見られる篆書・隷書・草書を通して楷書・行書以外にも書が生活の中に活かされていることを認識し、その意義や効果について考えることができるようにする。	古典教材 石鼓文 金文 乙瑛碑 書譜	篆書・隷書・草書の古典を通して、それぞれの特徴と書法を理解し、基本的用筆法を習得している。	○	○	○	10
	・仮名の書 さまざまな仮名の書の古典を鑑賞し、仮名の書の表現の多様性を理解できるようにする。また、書美に対する感性を高め、書を愛好する心情を身に付けることができるようにする。	古典教材 高野切 寸松庵色紙 継色紙 升色紙	仮名の古典の学習を活かして、それぞれの特徴と書法を理解し、仮名の基本的用筆法を習得している。	○	○	○	8
	・漢字仮名交じりの書 言葉と表現の関わり方、表現の意図や工夫の方法を味わい、意図に即した効果的な表現について主体的に考える態度を養う。名筆の学習を応用して、漢字と仮名を調和させながら、ねらいにそった表現ができるようにする。	使用教材 教科書 身のまわりの書	生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養っている。	○	○	○	10
2学期	・硬筆書写検定の学習 硬筆書写検定3級合格をめざして、速記・楷書、行書の書き分け・はがきの書き方・ポスターの書き方などを習得するとともに漢字の部首や筆順について理解することができるよにする。	副教材 硬筆レッスン帳 平仮名 楷書 行書	硬筆書写一般の技術および知識を持って書くことができる技能を身に付けている。	○	○	○	32
3学期	・篆刻 篆刻に興味・関心を持ち、印の歴史的変遷を学び篆刻の鑑賞を通して、印の章法における効果を理解することができるようにする。	使用教材 教科書 身のまわりの書	篆刻の作品の鑑賞を通して、表現の多様性を理解し、鑑賞を深め、書美に対する感性と書を愛好する心情を身に付けている。	○	○	○	10 合計 70